思想運動　1117 号　2025 年 10 月 1 日号

目次

1 面

石破退陣と自民党総裁選から見えるもの
　戦争国家化、排外主義の拡大にＮＯを
藤本愛子

2 面

11 月 8 日(土)　十月社会主義革命 108 周年記念集会に参加を！

与那国町長選の結果をどう見るか
　上地町長誕生で軍事訓練が縮小
飯島滋明（名古屋学院大学　憲法学・平和学）

対中戦争想定し「レゾリュート・ドラゴン 25」強行
　平和は闘いによってのみ獲得される！
阪上みつ子

10 月 15 日(水)　ＨＯＷＳ特別講座 琉球弧・宮古島の軍事要塞化と戦争準備（清水早子）

3 面

資料
　「レゾリュート・ドラゴン 25」日米実動演習・戦争準備軍拡予算に反対する声明

　米国と追従国の戦争演習に対し朝鮮が談話を発表

4 面

高崎で吾妻線廃止を阻止する集会
　国交省、ＪＲに一矢報いよう
中村美彦（市原地区労働組合協議会議長）

全国巡回展 Ｍｏｖｉｎｇ Ｈｉｓｔｏｒｙ Ｍｕｓｅｕｍ
　――日本と朝鮮、消えない歴史

「集団自決」と靖国思想
　――石原昌家氏の論考（本紙８月１日号）に学んで
土田宏樹

川柳
笑い茸

催物案内

5 面

関東大震災朝鮮人虐殺１０２年神奈川追悼会開く
　強まる排外主義の流れに抗して
高梨晃嘉（かながわ歴史教育を考える市民の会事務局長）

関東大震災朝鮮人虐殺と亀戸事件
　大虐殺のメンタリティーは生きている
庄子正紀（全労働者組合）

6～7面
連載 「Z世代」をとりまく閉塞状況と可能性を探る①
希望なき新自由主義時代への転換期を生きる
中西新太郎（横浜市立大学名誉教授）

8面
韓国ＯＰ闘争勝利をめざす９・12集会
６００日間に及ぶ闘争の軌跡
倉田智恵子

労働時評
労基法改悪を狙う労働政策審議会の危険な動向
――それは最低基準を単なるガイドラインに変質させるもの
吉良寛・自治体労働者

9面
抗日戦争・反ファシズム戦争勝利80周年をめぐって
中国人民の貢献の過小評価は許されない

西側の記憶の空白
中国の第二次大戦貢献が消えた理由

勝利を記念することは「貢献の誇張」か？
抗日戦争めぐる誤った論調を警戒

国際短信　世界のいま
〈イスラエル〉戦争終結要求し全土で１００万人規模の抗議行動
編集部

〈米国〉富裕層を優遇、低所得層は貧困加速
編集部

10面
高まるトランプ政権のベネズエラ軍事介入の危険
帝国主義的侵略に反対する連帯は強化される
富山栄子（国際交流平和フォーラム代表）

米国政府の行動のエスカレーションを非難する
キューバ革命政府の声明

ニカラグア、米国の攻撃に対しベネズエラへの支持を再確認

『国際主義』第11号　7月発行

原発事故被災者の声（48）
政府の原発「最大限活用」方針は許せない！
美浜では原発の新建設を認める方向
國分富夫（原発事故被害者 相双の会）

11面
資料
朝鮮労働党は現代世界をどう見ているか
反帝自主の力は帝国主義の暴制よりも強い

集会案内　10 月 19 日(日)祝園全国集会（京都）

前照灯
　生理休暇取れてますか

12 面
演劇時評　「マリヤの賛歌―石の叫び」
　戦時性暴力をテーマにした一人芝居
南川潤

頂門一針
　母語で書く

山形国際ドキュメンタリー映画祭
　パレスティナの重要作品８本を上映
早尾貴紀（東京経済大学教授）

芝居案内　野戦之月 25 秋 野戦之月テント芝居公演
　ＴＯＫＩＯネシア 公界地誌「新宿・クオキイラミ」

編集部発